

okamoto



第128期

株主通信

2023.4.1 ▶ 2024.3.31

New Basic

身近な暮らしを科学する

オカモト株式会社

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。
ここに、当社第128期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。



代表取締役社長執行役員 岡本 邦彦

モノづくりの可能性から、身近な「うれしい」を暮らしと社会に造り続けるため、新たな価値創造への挑戦に取り組み続けてまいります。

第128期(2024年3月期)は、コロナ禍からの経済活動の正常化が進み、景気は物価上昇の影響で足踏みも見られる中、インバウンド需要の回復や雇用・所得環境の改善を伴って緩やかに回復していると感じられるものの、国際情勢では、世界的な金融引締め維持による景気の下振れ、各地での継続的な紛争や地政学的リスクの高まり、中国経済の先行き懸念、為替相場における円安の進行など、不透明な状況が続いておりました。

このような環境下において、当社グループは、事業環境の変化に対応しながら、各セクションで事業戦略の遂行を進め競争力の強化に努めました。営業部門では、コロナ禍を経た顧客ニーズの変化を的確に察知したうえで国内外での積極的な営業活動と、原料・輸送コスト増を鑑みた価格の適正化に取り組んでまいりました。管理・生産部門では、原料調達コストの見直し、技術力を生かした研究開発、生産の合理化・効率化、製品やサービスを向上させるための品質マネジメントシステムの充実に取り組んでまいりました。

これらの施策を実施した結果、当連結会計年度における売上高106,123百万円(前年同期比7.1%増)となりました。利益面では営業利益は10,040百万円(前年同期比45.5%増)、経常利益は過去最高の12,087百万円(前年同期比52.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は7,388百万円(前年同期比51.0%増)となりました。

株主還元については、活動領域の中で常に企業体質の強化を図り収益力の向上に努め、その利益の配分は利益還元とし

ての配当の継続と自己株式取得及び自己株式消却を行ってまいります。なお、本年が創立90周年という節目の年にあたることを勘案し、株主の皆様への日頃のご支援にお応えするため、2024年3月期の期末配当において1株当たり25円の創立90周年記念配当を加えて、期末配当1株当たり80円(普通配当55円、創立90周年記念配当25円)とさせていただきます。

さらに、幅広く株主の皆様のご支持を得られるよう、資本コスト・株価を意識した経営に努め、持続的成長が期待できる分野への経営資源の重点配分や事業ポートフォリオの再構築により生産性の向上や収益力の強化を図ることに加え、サステナブルな企業として中・長期的な視点での企業価値の向上を実現するため、環境、社会、経済の持続可能性に配慮し、各ステークホルダーとの対話・協働と、コンプライアンスやリスク管理体制の充実を図り、より透明性の高い経営を行うとともに、それらに関する情報の積極的な開示に努めてまいります。

2024年2月1日の創立90周年を機に、私たちの社会での役割や存在意義を議論し、当社パーパスを【モノづくりの可能性から、身近な「うれしい」を暮らしと社会に造り続ける。】と策定しました。これからも身近な暮らしを科学していくことを目指して、モノづくりへのこだわりと続けることへの強い想いをもって活動してまいります。

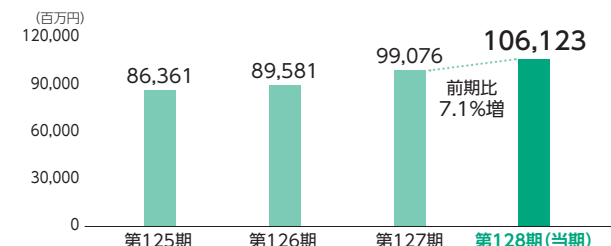
こうした取り組みにより、株主の皆様のほか、お取引先様、お得意先様、従業員、地域社会や住民の皆様など、すべてのステークホルダーの方々の「うれしい」暮らしと笑顔あふれる社会造りができるよう尽力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、当社グループへの温かいご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

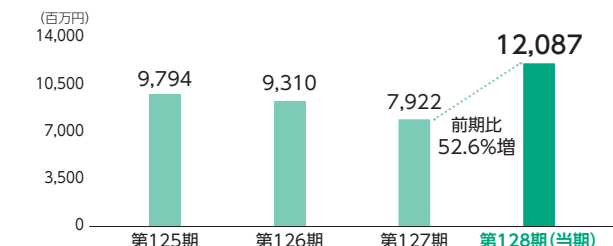
主要連結財務データ

	第125期 2021年3月期	第126期 2022年3月期	第127期 2023年3月期	第128期(当期) 2024年3月期
売上高	86,361 百万円	89,581 百万円	99,076 百万円	106,123 百万円
営業利益	8,269 百万円	7,541 百万円	6,898 百万円	10,040 百万円
経常利益	9,794 百万円	9,310 百万円	7,922 百万円	12,087 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	5,697 百万円	5,577 百万円	4,893 百万円	7,388 百万円
1株当たり当期純利益	304.04 円	301.32 円	271.06 円	420.34 円
総資産	112,070 百万円	117,560 百万円	127,176 百万円	143,858 百万円
純資産	70,316 百万円	74,916 百万円	79,099 百万円	91,581 百万円
1株当たり純資産	3,609.27 円	3,932.69 円	4,316.20 円	5,054.10 円
配当	100.00 円	105.00 円	110.00 円	135.00 円

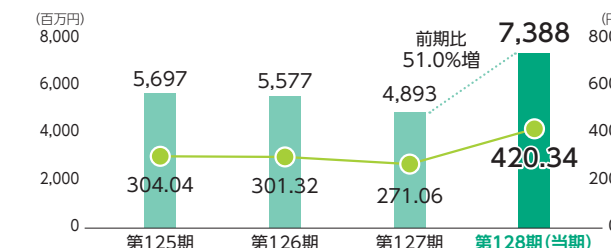
● 売上高



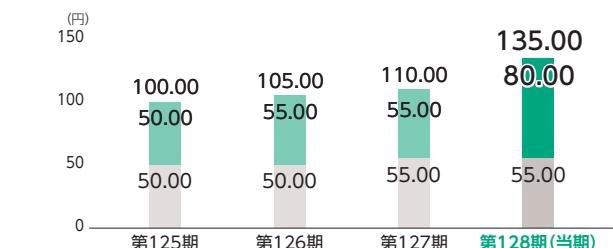
● 経常利益



● 親会社株主に帰属する当期純利益 / 1株当たり当期純利益



● 配当



NEWS & TOPICS

オカモトグループの様々な活動や取り組みをご紹介します。

パーパスの策定を行いました

2024年2月1日の創立90周年を迎えた節目に、会社の存在意義である「パーパス」の策定活動を行いました。半年間をかけ、延べ1,000名以上で意見出しを行いました。策定活動をきっかけに、オカモトグループ社員一丸となり、より良いモノづくりで身近な「うれしい」を造り続けてまいります。

パーパスの読み解き

「モノづくり」

=ゴム・プラスチックを中心とした、「純粋な製造業」たることへのこだわり。

「可能性から」

=多様な領域で幅広く積み上げた技術力と、注力する研究開発力の進化から生まれる、新たな価値創出への大きなポテンシャル。

「暮らしと社会」

=毎日の生活の質の向上へ貢献すること。社会の多様な産業のお役に立つこと。そして、環境対応、リサイクルなど、サステナビリティ、SDGsの実現に積極的に取り組むこと。

パーパス

モノづくりの可能性から、 身近な「うれしい」を暮らしと社会に造り続ける。

「身近な」

=お客さまが価値をわかりやすく実感していただきやすい、生活の一番身近な部分にこそ、一番の品質をお届けしたいとの強い思い。

「うれしい」

=自分たちが造りだしたものが暮らしへ、社会へ届けられ、生活者の方々、企業の方々のお役に立っていること。その様子を目にするを通じて、自分たちの仕事が社会への貢献につながっていることを実感できるうれしさ。使う人、造る人、双方の「うれしさ」。

「造り」

=「モノづくり」への強い意識から「創る」、「作る」ではなく「造る」。

「続ける」

=事業の継続性へのこだわり。長い歴史の中で培った、高い信用、信頼をベースに世の中に欠くことのできない製品の安定供給と、新たな価値創出への挑戦に、時代を超えて取り組み続けること。

産業用製品事業

農業用フィルム「POクール[※]」は、農林水産省の推進する「みどりの食料システム戦略」に基づく基盤確立事業実施計画に認定されました

農業用遮熱PO（ポリオレフィン）フィルムの「POクール」は、作物の光合成に必要な可視光線を通しながら高温対策をすることが可能で、夏季の高温対策と冬季の燃料消費量の削減の両立に寄与するという点が評価され、基盤確立事業実施計画の認定を受けました。

※「POクール」は2024年4月1日より「POクール ALL SEASON」へ名称が変更となりました。



現場の医師の声から生まれた全く新しい創傷被覆・保護材「ATKパッド」新発売

浸透圧によって皮下脂肪組織までの創傷（Ⅲ度熱傷を除く。）に対する創の保護・湿潤環境の維持・治癒の促進・疼痛の軽減を目的とする創傷被覆・保護材です。難治性潰瘍の治療、訪問看護や介護の現場などで寝たきりの方の褥瘡管理に役立ちます。

ピチット[®]シリーズ パッケージリニューアル

1986年の発売以降、長年プロの料理人の方から愛され続けているピチットがパッケージリニューアルをしました。1枚ずつ取り出せるチャック付き袋封入で使いやすくなりました。ブランドサイトもリニューアルし、分かりやすくピチットの魅力をお伝えしています。

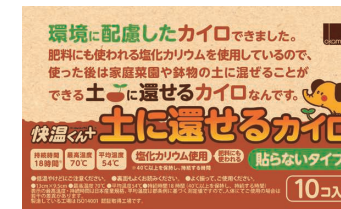
詳しくは
こちら



生活用品事業

カイロ業界初！「貼らないカイロ 快温くんプラス 土に還せるカイロ」外袋を紙パッケージへリニューアル

環境配慮商品である「土に還せるカイロ」のパッケージが、プラスチックフィルムからFSC[®]認証紙になりました。印刷インキの一部には、植物由来の資源を原料の一部に使用して製造したバイオマスインキを使用し、水性フレキソ印刷を採用。さらに環境に優しい商品となりました。



「ふたりにやさしい」がコンセプト before (ビフォア) 潤滑ゼリー 新発売

beforeは、「悩みを抱え込む「前」に」、「性交の「前」」にという意味で、デリケートな悩みや不安をひとりで抱え込むのではなく、ふたりで共有することで、もっと心地よい関係になれるようにという思いが込められています。パッケージは、淡い水彩と線画で優しさや清潔感、ふたりの寄り添い感を表現し、誰にでも手に取りやすい商品を目指しています。



「貼らないカイロ 快温くんプラス 土に還せるカイロ」

カイロの原材料に含まれている塩化ナトリウム（塩）を、肥料の三要素の一つである塩化カリウムへ代替することにより、従来ゴミとして破棄されていたカイロの中身を、土に混ぜることができるように環境へ配慮したカイロです。

（混ぜる量の目安：5号鉢1鉢に対して本品1個、65型プランター1鉢に対して本品4個分）



PVCフィルム「オカモトバイオ」 POフィルム 「エマソフトアースバイオ」 PPシート「バイオPPシート」

原材料10%に植物由来のバイオマス原材料を用いたバイオマスマーク認定を取得したプラスチック製品です。



農業用フィルム「POクール※」



「POクール」は、作物の光合成に必要な可視光線を通し、温度上昇の原因となる赤外線を一定量抑えるので、夏季にはハウス内温度上昇を抑制し、作業者の負担を軽減するとともに、灌水の回数が軽減できます。冬季には夜間の熱を逃しづらい効果があるため、暖房に使用する燃料消費量の削減ができます。

※「POクール」は2024年4月1日より「POクール ALL SEASON」へ名称が変更となりました。

クラフトテープ ラミレスシリーズ



ポリエチレンのラミネートをしていないため、燃焼時の二酸化炭素の発生量を削減することができます。パッケージには、バイオマスインキを使用しています。フィルムでの個包装をしない、無包装タイプもラインアップしています。

トンネル専用 農業用ポリオレフィンフィルム「しとやか」

ポリオレフィンフィルムはビニルフィルムに比べ、耐久性があるため長持ちし、コストダウンに貢献します。また約3割軽量であることから、フィルムの持ち運びや展張作業が楽になり、省力化にも貢献することができます。



食品包装用ラップ「環境思い」

塩素系樹脂を使用していないので、焼却してもダイオキシン等を発生させません。食品衛生法のほか、業界団体の自主規制にも適合した、安全性に優れ、環境に配慮した製品です。ゴミ削減のため、従来の巻きよりも長いものをラインアップしています。



オカモトゼロワン (全種類)

パッケージのインキをバイオマスインキへ変更しました。



Society

人材活用

ダイバーシティ&インクルージョンを目指す活動

当社では、本人やその家族が出産や育児を迎えた従業員が就労機会を失うことがないよう、産前産後休暇制度や育児休業制度に加え、育児短時間勤務制度や時間単位有給休暇制度を導入し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

● 育児休業実績	(期間：2023年4月～2024年3月)	28名 (男性12名、女性16名)
● 育児短時間勤務利用者	(期間：2023年4月～2024年3月)	26名 (女性26名)
● 年次有給休暇取得率	(期間：2022年7月～2023年6月)	67.6%



社会貢献活動

中学校での啓発活動の取り組み

関西の中学校にて授業内で性教育を行いたいというお申し出をいただき、3年生の授業へご協力をさせていただきました。コンドームが身体を守る大切な道具の一つであることを伝え、正しい知識と使い方について分かりやすく説明いたしました。



コラボ商品を通じたアフリカの性教育へ継続的な支援

当社では、2021年秋より特定非営利活動法人CLOUDYとコラボしたコンドーム「CLOUDY 500」を販売しています。同コンドームの売上金の一部を支援金として寄付し、学校教育における性教育の充実と布ナプキンの普及活動の支援に活用されています。同法人を通じて、2023年4月以降、毎月150名程度の中学・高校生に対して性教育授業が行われ、布ナプキンと下着、石鹸をセットにしたサニタリーセットを1,658名配布することができました。



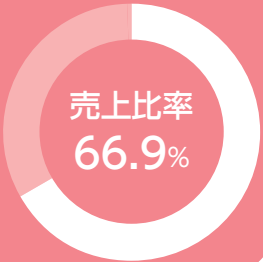
パラリンアートへの賛同

パラリンアートとは、障がい者が生み出すアートを活かして、社会参加と経済的自立を推進する活動です。当社では、一般社団法人障がい者自立推進機構が運営するパラリンアートのオフィシャルパートナーとして、障がい者アーティストの自立を応援しております。第126期から引き続き株主通信の表紙にパラリンアートを採用いたしました。



産業用製品事業

ゴムの成膜技術を応用し、主にプラスチック原料からフィルムシートを製造し、他の事業者へ供給する事業。原油やナフサの市場動向と、世界的なプラスチック原料の需給バランスに影響を受けやすい環境にあり、当期は、コロナ禍からの経済活動の正常化が進み、国内外での積極的な営業活動により増収増益となりました。



売上比率
66.9%

フィルム事業

一般用・工業用として製造販売するフィルム・PPシートは、手帳やクリアフォルダ等の身近な製品から、看板広告、工場の間仕切り等、様々な用途に使用されております。

コロナ禍では、透明フィルムに抗菌や抗ウイルス処方を施し、飛沫防止用としても多く使用されました。

また、当社内でデザインを開発・印刷する建材用フィルムは、玄関ドアやユニットバス等の住宅建材の他、看板広告や自動車インテリア等にも使用されております。



粘着テープ・工業用テープ事業

梱包用途や養生用途として、布・クラフト紙・ポリエチレンなどの様々な基材を使用した粘着テープを販売しております。

また、ブチルゴムを使用した住宅建材用テープ、ポリイミドやポリエステル等のフィルムを使用した精密機器・精密加工等に使用される工業用テープを販売しております。



車輦内装材事業

自動車のダッシュボード、座席、ドア等に使用される内装用表皮材に加え、二輪車の座席用表皮材、椅子張り用表皮材等を販売しております。国内工場(静岡県)及び米国(オハイオ州)に加え、中国(湖北省)に新工場を設立し、表皮のデザインをはじめとした仕様開発から試作・量産までを一貫して行っております。



農業用フィルム事業

全国の自然環境や作物の特性に合わせて、保湿性や耐久性の向上のほか、紫外線抑制、散乱光等の機能性、温度抑制効果機能のある農ビ(ポリ塩化ビニル製)や農PO(ポリオレフィン製)のフィルムを販売しております。



多層フィルム事業

オレフィン系多層フィルムは異なる素材を多層構造に押出成形することにより、レトルト食品包装、豆腐等の容器トップ材、医療用輸液バッグのほか、電池部材等の工業用途にも使用されております。



フレキシブルコンテナ事業

ポリ塩化ビニルやポリエチレンといった合成樹脂のほか、化学品や飼料・肥料等を運搬するためのコンテナバッグを販売しております。



食品衛生関連事業・食品用脱水・吸水シート事業

食品スーパーや飲食店向け業務用としてのラップフィルム、ポリエチレン製やニトリルゴム製の手袋のほか、家庭用ラップ「やさしいラップ」と、特殊多層構造の「カシニーナ ピタッ!とラップ®」を販売しております。

また、浸透圧の力で肉や魚を脱水する「ピチット®」、高吸収ポリマーで吸水する「レッドキーパー®」を販売しております。



壁紙事業

様々な色を重ね合わせた壁紙や、起伏をつけて立体的な表現を施した壁紙のほか、汚れや臭い対策を施した壁紙など、幅広いラインアップの製品を販売しております。

つくば工場(茨城県)をメイン工場とし、増産と新製品開発に取り組んでおります。



生活用品事業

コンドームや医療用・家庭用手袋などのゴム製品のほか、カイロ、除湿剤、紳士靴、長靴、滅菌器、浣腸等を製造販売する事業。

コンドームは、新製品の販売促進、インバウンド需要の増加、海外向けも引き続き堅調に推移し、除湿剤は、梅雨期間の降水量が多く、需要の増加や店頭販売が好転し、増収増益となりました。



除湿剤事業

「水とりぞうさん[®]」の愛称でご好評いただいている除湿剤は、タンクタイプ(550mL、550mL 炭)、シートタイプ(クローゼット用、引き出し用、下駄箱用等)のラインアップで販売しております。

また、押し入れなどに布団を収納する際の湿気や、家具裏のちょっとしたすき間のカビ対策品等も幅広く展開しております。



コンドーム事業

当社のコンドームは国内工場(茨城県)・タイ(パトゥムタニ県)・中国(広東省)の3工場で生産しています。「オカモトゼロワン(0.01mm台)」、「オカモトゼロツー(0.02mm台)」、「ゼロゼロスリー(0.03mm台)」を中心に様々な商品を国内外で販売しております。

2種類の異なる潤滑剤を塗布した「GROOVE」や、女性も手に取りやすい「ピュアマーガレット ケアリングゼリー」がご好評をいただいております。



手袋事業

家庭用手袋として「ビルパール[®]」「マリーゴールド」「サーモ発泡」などに加え、北欧調デザインと機能性を兼ね備えた「カシニーナ」シリーズや、使いきりタイプ等を販売しております。

また、精密機器メーカーでも使用実績のあるクリーンルーム用手袋や、農作業や機械整備作業の従事者にご好評な作業用手袋等も販売しております。



メディカル事業

医療機関向けの手袋は、手術用や検査検診用等の用途に合わせた幅広いラインアップで販売しております。また、主に病院・クリニック等で使用される高温蒸気滅菌器は、様々なサイズを展開しております。

超音波プローブカバーにおいてはコンドームの技術を転用し、ラテックス製や非ラテックス製の商品を産科・婦人科、泌尿器科へ販売しております。また、水あめの浸透圧を応用した創傷被覆材「ATKパッド」の新商品も上市しました。



シューズ事業

1964年創業のスニーカーブランド「パンサー」や高級紳士革靴の「ユニオンインペリアル」を直営店である日比谷OKUROJI店をはじめとした全国で販売しております。また、アウトドア・釣り・ガーデニングなどの趣味用途から、様々な業種に対応した作業用ブーツも、幅広いラインアップでご好評をいただいております。



その他事業

かつて自動車用タイヤを生産していた群馬工場跡地(群馬県太田市。約60,870㎡)を有効活用し、自社にて太陽光パネルを設置し、「オカモト太田ソーラーパーク」として太陽光発電事業(発電能力は約4,230kW)を行っております。



会社概要 (2024年3月31日現在)

社名 オカモト株式会社
 設立 1934年1月10日
 資本金 13,047,630,757円
 従業員数 1,148名
 本社 〒113-8710
 東京都文京区本郷3丁目27番12号
 電話(03)3817-4111(代表)
 大阪支店 〒540-0022
 大阪府大阪市中央区糸屋町2丁目4番6号
 電話(06)4793-8500(代表)
 名古屋営業所 〒460-0002
 愛知県名古屋市中区丸の内1丁目4番12号
 電話(052)559-0327(代表)
 福岡営業所 〒815-0035
 福岡県福岡市南区向野1丁目13番9号
 電話(092)557-2600(代表)

取締役 (2024年6月27日現在)

取締役会長 岡本 良幸	取締役 高島 寛
代表取締役 岡本 邦彦	(監査等委員)
代表取締役 岡本 優	社外取締役 深澤 佳己
(監査等委員)	(監査等委員)
取締役 田中 祐司	社外取締役 荒井 瑞夫
取締役 池田 佳司	(監査等委員)
社外取締役 相澤 光江	

執行役員 (2024年6月27日現在)

社長執行役員 岡本 邦彦	執行役員 山崎 実
専務執行役員 岡本 優	執行役員 谷口 雄二
常務執行役員 池田 佳司	執行役員 佐藤 達也
常務執行役員 土屋 洋一	執行役員 伊藤 延之
常務執行役員 田中 健嗣	執行役員 内山 祐之
常務執行役員 野寺 哲生	執行役員 細谷 久雄
常務執行役員 田中 祐司	執行役員 若林 茂孝
常務執行役員 久米 孝之	
常務執行役員 佐藤 篤史	

オカモトの技術を支える国内生産拠点・海外拠点

当社グループは、国内の拠点それぞれがゴムとプラスチックの加工技術を深化させるとともに、総合メーカーとしてそれぞれの技術を融合させ、発展してまいりました。またグローバルに展開するお客様のニーズにお応えするため、中国やタイ、米国等に拠点を拡張しております。これからも国内での研究開発の推進、国内で策定する品質管理基準の統一な運用を基礎としながら、世界レベルでの生産と供給の最適化を図り、より多く社会に貢献できる企業を目指してまいります。

国内生産拠点

- 静岡工場
所在地: 静岡県榛原郡吉田町神戸1番地
生産品目: フィルム、多層フィルム、農業用フィルム、壁紙、車輦内装材など
- 茨城工場
所在地: 茨城県龍ヶ崎市板橋町字西山1番地
生産品目: コンドーム、粘着テープ、ホウ酸ダング、手袋、カイロ、食品用脱水・吸水シート、ビデ
- 福島工場
所在地: 福島県いわき市平赤井字日渡71番地
生産品目: ラップフィルム、ポリプロピレンシート、除湿剤、フレキシブルコンテナ、ゴムバンド、インジェクションブーツ
- つくば工場
所在地: 茨城県牛久市桂町2200-2
生産品目: 壁紙



静岡工場



福島工場



Siam Okamoto Co.,Ltd.



Okamoto Sandusky Manufacturing,LLC.



茨城工場



つくば工場

イチジク製薬株式会社

1925年、田村廿三郎医師がイチジク印軽便浣腸を開発し、以来99年にわたり「イチジク」のブランドで浣腸を製造・販売してきた家庭薬メーカーです。便秘は、性別や年齢に関係なく身近な問題で、深刻な症状に発展するおそれもあります。浣腸は「飲まない便秘の薬」として長年愛されてまいりました。0歳児から高齢者までご使用いただける製品を取り揃えるとともに、お客様の便秘で悩んでいる保護者様向けの啓発活動も行っております。

▶イチジク浣腸30「青色」と「白十字」のデザインをシンボルとして40年以上にもわたり販売しているロングセラー商品です。



創業95周年記念
アニメーション動画を自社HPで公開中▶

オカモト化成株式会社



▲最新鋭の設備で農業用ハウスフィルムの加工品を供給しています。

オカモトが生産するフィルム製品やコンシューマー向け商品（粘着テープ、手袋、食品用ラップ等）を販売しています。特に農業分野では、2024年3月に愛知県の自社工場に最新鋭のフィルムヒートシール加工機を導入しました。農業従事者の皆様の、様々なニーズにオンタイムで対応できる体制を整えています。

オカモト環境開発株式会社

地球環境の保護への取り組みを強化し、廃プラスチックの再利用を推進して廃棄物としての排出量を削減するため、2020年10月1日に新会社を設立いたしました。新会社の設立を通じて、生産工程で排出される端材等を再利用した新製品の開発を強化し、廃棄物のさらなる削減と、原材料のより有効かつ効率的な活用を進めます。



ヒルソン・デック株式会社

1980年の創業以来、独自に第二種医療機器製造販売業としての許可を取得し、医療機関が治療や検査に使用する器具を滅菌する際の「滅菌器」を製造してまいりました。

医療機関の物理的な環境や滅菌する器具の種類等に応じて、様々な大きさや設置方法の滅菌器をラインアップとして取り揃えております。



船堀ゴム株式会社



▲工業用指サック

1959年、江戸川区船堀の地で創業した「工業用指サック」メーカーです。原材料にはコンドームと同じ天然ゴムラテックスを使用し、「薄くて丈夫、柔らかくて使いやすい」というゴムの特性を生かして製品ラインアップを広げ、精密機器に使用される電子部品などの製造現場でも愛用されております。

また硫黄や亜鉛等を含まない製品などの販売に加えて、業務用コンドーム事業も展開しております。

理研コランダム株式会社

1935年に、財団法人理化学研究所で研究開発された人工研磨材「砥粒」を用いて、研磨布紙の製造・販売を目的に設立されました。

切削・研磨に欠かせない「砥粒」という粒状ないし粉末状の原料を、ニーズに応じて、布・紙・フィルム・金属等に付着させることにより、研磨用ベルト、フラップディスク（多羽根ディスク）、OA機器用ロール等の製品として製造販売しております。



株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数 80,000,000株
 発行済株式総数 17,542,181株(自己株式を除く)
 ※上記より控除した自己株式数557,186株

株主数 5,925名
 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	1,485	8.47
丸紅株式会社	1,442	8.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,319	7.52
株式会社みずほ銀行	875	4.99
有限会社八幡興産	706	4.03
やよい会	631	3.60
損害保険ジャパン株式会社	488	2.79
INVERISIS / IICS JAPAN	466	2.66
株式会社日本カストディ銀行	457	2.61
オカモトグループ社員持株会	312	1.78

(注) 1. 信託銀行の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数
 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 1,319千株
 株式会社日本カストディ銀行 457千株
 2. 持株比率は自己株式を除いた発行済株式総数に対する割合です。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
 剰余金の配当基準日 3月31日
 (中間配当を行う場合は9月30日)
 定時株主総会 毎年6月下旬
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
 (特別口座の口座管理機関) みずほ信託銀行株式会社
 郵送物送付先 〒168-8507
 東京都杉並区和泉2-8-4
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 お問い合わせ先 みずほ信託銀行 証券代行部
 ホームページ: <https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html>
 フリーダイヤル: 0120-288-324
 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
 ※株式に関する事務手続きはお取引の証券会社にお問い合わせください。
 公告方法 電子公告
 (<https://www.okamoto-inc.jp/>)
 但し、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

表紙



未来はきっと

コツコツと誰もがそれぞれの種をまいて生きています。それが一斉に花を咲かせた時の光景を描きました。未来にたくさんの花が咲きますようにという想いを込めた作品です。

●アーティスト sioさんプロフィール

自閉症スペクトラム (ASD) の絵描き。アナログもデジタルも両方描きます。人生で吸収したものをいろんな画風で描いていきます。

オカモト株式会社

〒113-8710
 東京都文京区本郷3丁目27番12号
 (03) 3817-4111 (代表)

当社WEBサイト

<https://www.okamoto-inc.jp/>

